

海況・魚群速報(別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果)

平成20年7月3日
大分県農林水産研究センター
水産試験場

県水産試験場の調査船「豊洋」による別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果は、次のとおりである。

調査日： 6月30日－7月3日

【海況】

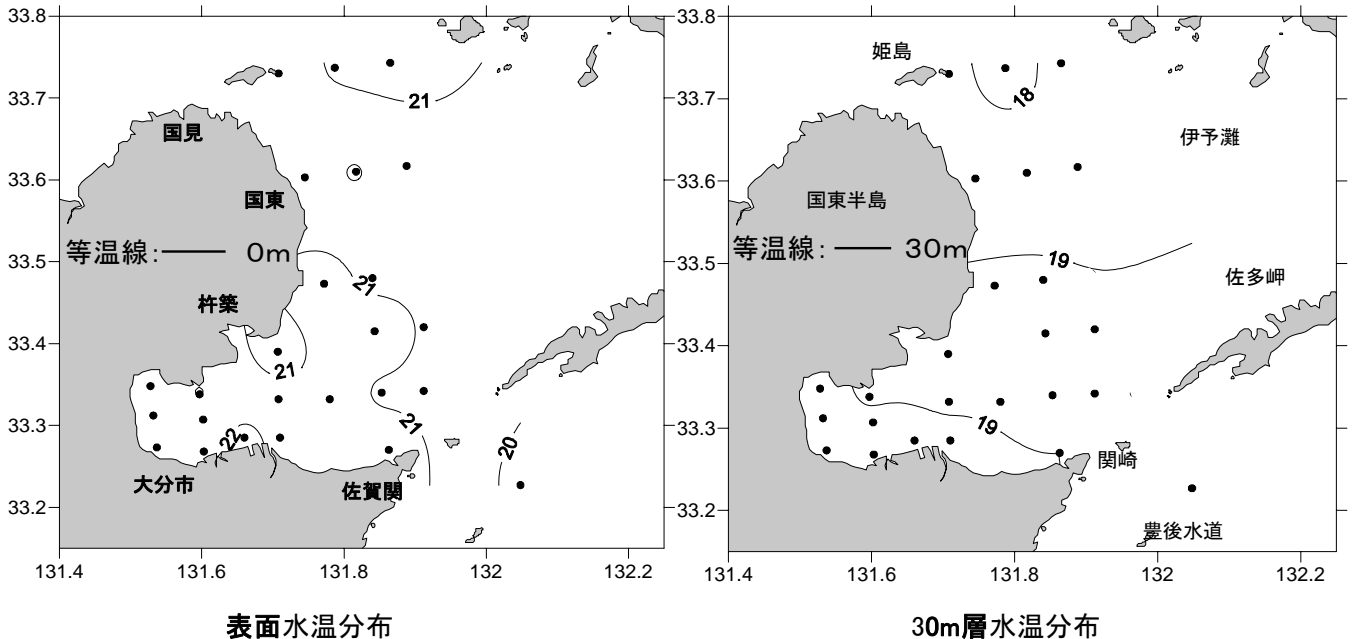
(別府湾の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
別府湾	表面	21.6	+ 2.4	- 2.4	- 1.8
	底層(-30m)	18.8	+ 1.8	- 0.9	+ 0.1

(国東半島沖合の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
国東半島 沖合	表面	20.9	+ 2.1	- 0.6	- 0.9
	底層(-30m)	18.7	+ 1.7	- 0.8	+ 0.0

(水温分布)



「海況概要」

気温が低かったこともあり、水温は表層で平年より低め基調。

別府湾・国東半島沖合の表面水温は19～22℃台を示し、別府湾では前年より2.4℃低めで、平年より1.8℃低め。国東半島沖合では前年より0.6℃低めで、平年より0.9℃低めであった。

水深30m層は17～19℃台を示し、別府湾では前年より0.9℃低めで、平年並み(+0.1℃)。国東半島沖合では前年より0.8℃低めで、平年並み(±0℃)であった。

(黒潮情報：漁業情報サービスセンター)

6月25日～6月26日の観測によると、九州東岸沖の黒潮内水温は25-26℃を示し、前年同期並み。

黒潮は都井岬、足摺岬沖ともに著しく離岸しており、黒潮系の暖水が流入しにくい状態にある。

【魚群分布】

主な魚群の出現状況は、下表及び下図のとおりである。

s20-7号

昨年同期の調査時に比べて、魚群の出現数が少なかった。

(魚群の出現状況)

日	時刻	魚群の状況					水温 °C	水深 m	魚の体長* cm
		位置	大きさ	出現個数	反応水深(m)*	密度			
6/30	15:04 ~	st. 26付近	大	多	25-B	濃	21.5	53	4
6/30	15:40	st. 30付近	大	1	20-40	中	22.1	59	28
7/1	8:33	st. 31-30	中	3	5-50	淡、濃	22.4	60	7-20
7/1	8:49	st. 30-29	中	3	0-B	濃	22.2	50	0-4
7/1	9:40 ~	st. 27-25	小	3	5-40	中	22.0	45	0-4
7/1	14:56	st. 11-10	小	3	0-20	濃	21.9	26	0-4
7/2	9:02	st. 国東沖	小	1	10	中	20.5	20	14
7/2	9:51 ~	st. 9-1	大	6	2-38	濃	20.9	39	7-20
7/3	8:04	st. 9付近	中	2	10-B	中	19.5	26	14-28
7/3	10:47	st. 8-12	小	1	25	中	20.3	47	4

* 反応水深のうち、Bは底

* 魚群の構成主体となった魚の体長(計量魚探により算出された推定体長cm)

